

No.829 December 2025

ASAHI MACHI

Public Relations

⑨ 広報 あさひまち



2025

12

No. 829

おいしい芋煮で、

からだぽかぽか



【出席者（敬称略）と各議題】

所 属	氏 名	議 題
朝日町若手農業者の会	白田 憲彦	朝日町の農業について
朝日町建設総合組合	安藤 尚之	戦略的に縮む町づくり ～維持・運営を重視した公共施設の見直し～
//	清野 英樹	
朝日町女性グループ YUKARI	多田 恵理子	女性が輝く町づくり
	佐藤 智穂	
地域おこし協力隊隊員	今野 颯	朝日町の観光について
朝日町事業振興協議会	阿部 佳孝	●人口減少が加速的に進んでいるが、 人口流出を止める方策はあるのか !! ●企業誘致を行なっているものの、 ほとんど実績がないが、何か対策はあるのか
//	佐藤 欣治	
//	渡辺 裕一	

町民の生の声を聞く 朝日町町民議会が初開催

11月21日、町民が自ら議場に立ち、町政に関する質問や意見を述べる「町民議会」が町議場で開催されました。

多くの町民が議会や町政に関心をもち、町の産業振興や福祉向上などを町と共に考えるきっかけづくりを目的に、初めて開催されたこの議会。当日は町民9人が出席しました。

朝日町女性グループ YUKARI の多田恵理子代表は「日頃から考えていることを公的な場で発言し、直接町に伝えられたことは意義深いものがある。これからも、住みやすいまちづくりについて考えながら行動していきたい」と振り返りました。

本会議の内容は、1月30日配布の「議会だより」および町公式ホームページの録画中継をご覧ください。

録画中継はこちら▼



目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
朝日町町民議会が初開催
- P4 特集
いつまでも、食べて元気に
- P8 町政スポット
・あさひ未来学園建築設計に関する町民ワークショップ
・除雪隊辞令交付式
・白田和好さんに感謝状 ほか
- P10 まちレポート
・みんなでつくる芋煮会
・産業用ドローン研修会
・竜馬が学校にやって来た！ ほか
- P14 第28回ひめさゆり俳句大会
- P15 清野忠市さんが林野庁長官賞を受賞 ほか
- P16 我ら地域活性化起業人 ほか
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町の神社と御堂
- P19 戸籍のまど、となりのリングゴさん ほか
- P20 HOPE ひろば

表紙の写真



11月30日、送橋公民館で“送橋おっきなお茶のみ会”と題したイベントが開催されました。20回以上続くこの催しは、区の収穫感謝祭も兼ねて行われています。参加した約30人の区民は、芋煮やお弁当を味わいながら交流を深め、にぎやかに過ごしていました。

町長歳時記 (225)

今を大切に生きる ～今があるから未来につながる～

「たとえ明日世界が終わるとしても、今日私はりんごの木を植える」これは、非常に有名な言葉で、ドイツの宗教改革者であるマルティン・ルターの言葉です。

「明日世界が終わる」ことなど、今の私たちには想像できないことであります。「明日があるから生きられる」「今がどんなに辛くとも、明日になればきっといいことが待っている」そう思うことによって、私たちは人生を前向きに生きることができるのだと思うのです。

しかし、ここでルターは、敢えて明日世界が終わることを前提とした、今を生きる私たち人間の生き方を示しています。「今を生きる私たちは、どんな未来が待ち受けようとも、今やるべきこと、今できる事を淡々とやり続けることが重要なのだ」と教えているのだと思います。

現代を生きる私たちのほとんどは、明日があることを前提として生きています。明日の予定も、明後日の予定もあり、また十日後、一月後、あるいは一年後にわたって、予定の入っている人もあるかも知れません。中には心躍る喜ばしい予定だけではなく、辛く厳しい関門を乗り越えて行かなければならないような、重く気持ちが沈みそうな予定もあるかも知れません。しかしどんな未来であっても、今という現在を通して行かない未来はないのです。

私たち人間は本来、「どうすれば人はより良く生きられるのか」という課題を原点として出発しています。今がどんな状況であろうとも、私たち人間はより良く生きられるための行動に進むものなのです。明日がないと知ったそんな状況の中でも、より良く生きる自分のでき得る最善を尽くそうとする。それが人間本来の生き方です。

今があるから未来につながる。師走年の瀬、今年一年に感謝し、来たる新年に大いなる希望を抱き、世界の平和を祈りつつ、今を大切に生きて行きたいと思います。

朝日町長 鈴木浩孝



【主な取り組み】

- 低栄養予防講座の実施
- 子どもたちの食育活動
 - ・あさひ保育園訪問
 - ・小学生対象の料理教室 など
- 町の郷土料理の調理・紹介
 - 本紙不定期コーナー
 - 「ももいろメイトのばんげだなはあ」に掲載
- イベントなどでの講師活動・料理の提供

昨年度、町制施行70周年を記念して開催された“あけび料理レシピコンテスト”も、町食生活改善推進協議会が主催したんだよ。

会員募集中
一緒に活動しませんか？

【申込・問合せ先】
健康福祉課 保健医療係
(朝日町食生活改善推進協議会事務局)
☎ 67-2116

食生活改善推進協議会とは
全国の各自治体に組織されている食生活改善推進協議会。私達の健康は、私達の手でをスローガンに掲げ、地域住民のより良い食生活の定着を目的に活動しています。

60年以上の歴史をもつ町の食生活改善推進協議会
昭和39年に結成された朝日町の食生活改善推進協議会は現在、あさひ

ももいろメイトという愛称で呼ばれ、25人の会員が活動。おもてなし、おすわけ・おたがいさまの気持ちを大切に、ボランティアとして取り組んでいます。

主な活動内容は左記のとおり。地区からの依頼に応じた講座を実施したり、子どもたちに向けた食育訪問・料理教室を行ったりと、幅広い世代に食の大切さを伝えています。

町民の健康を食でサポート あさひももいろメイト（朝日町食生活改善推進協議会）

地区の低栄養予防講座に参加した皆さん▶

12月3日に栄町公民館（写真上）、同月6日に大谷第五区公民館（写真下）で町食生活改善推進協議会が主催する低栄養予防講座が開催されました。参加した地区住民は、町保健師や管理栄養士などによる健康な体づくりに関する講話を聴いた後、栄養バランスを重視したお弁当を調理・実食していました

▼提供されたお弁当 レシピは6・7ページに記載



◀ヘルシー健口教室での調理実習

12月5日に役場調理室でヘルシー健口教室が行われました。この日は調理実習のほか、口腔ケアに関する講話もあり、参加者は食に対する関心を高めていました



▲完成した料理

志藤一枝さんに感謝状

11月17日、長年にわたる栄養・食生活事業への功績が認められ、志藤一枝さん（川通）に県知事から感謝状が贈られました。

町食生活改善推進協議会の会長を務めるなど、町民の健康づくりの維持向上に寄与している志藤さん。受賞にあたり「日頃から支援、協力してくださる皆さんのおかげです。これからも地域の健康と食生活の向上を目指して努力していきます」と語りました。



志藤さん（左）

特集 いつまでも、食べて元気に

“フレイル、という言葉聞いたことはありますか。

簡単に説明すると、健康な状態と寝たきりの状態の中間を示し、身体が必要とする栄養素を十分に摂取できないことが原因で、体は動くものの物忘れや体力・気力が低下している“虚弱、のことを指します。

健康な体を保つためには、食事や運動、社会参加（地域の集まりへの参加など）がポイントとなります。

今回の特集では、その中の“食事、に注目。低栄養・フレイル予防に効果的な食事のほか、

町民の健康的な食生活をサポートする町食生活改善推進員について紹介します。

しっかり磨いて歯を残しましょう

元気な体を保つには、バランスの取れた食事や運動、そして口腔内の健康も重要です。

永久歯は本来、上下合わせて28～32本（親知らず含む）生えているのですが、皆さんの歯は現在何本ありますか。国は平成元年より、80歳で20本の歯を残しましょうと呼びかけています（8020運動）。令和6年度時点で全国の80代の約6割の方が20本以上の歯を残しており、朝日町では85歳の1～2割の方が達成しています。

歯がないと「食いしばれず転びやすくなる」「唾液が出ず乾燥しやすくなり、食事がしにくくなる」といった影響があります。口は食器と同じで食事に欠かせないものであり、磨かないと悪い菌が繁殖しやすくなります。毎食後が難しくても、寝る前などにしっかりと歯磨きを心がけましょう。



介護支援専門員 柏倉 美穂さん

Topic

1日に必要なカロリー

[推定エネルギー必要量 (kcal / 日)]

性別	男性			女性		
身体活動レベル*	低い	普通	高い	低い	普通	高い
18～29歳	2,250	2,600	3,000	1,700	1,950	2,250
30～49歳	2,350	2,750	3,150	1,750	2,050	2,350
50～64歳	2,250	2,650	3,000	1,700	1,950	2,250
65～74歳	2,100	2,350	2,650	1,650	1,850	2,050
75歳以上	1,850	2,250	—	1,450	1,750	—

※身体活動レベル

低い … 自宅にいて、ほとんど外出しない場合

普通 … 自立して生活している場合

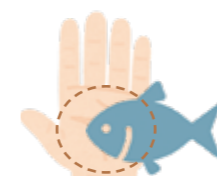
高い … 肉体労働や外回りが多く、日常的な活動量が多い場合

(参考: 厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書)

【1食(1日)にとりたい食事量の目安】※手の平…指の付け根から下の部分



主食（米など）
1食あたり
茶碗1杯
(約150～200g)



主菜（肉や魚）
1食あたり
手の平*
1/2程度



副菜（野菜類）
1食あたり
生：両手の平*に1杯
加熱済：片手の平*に1杯



果物
1日あたり
握りこぶし
1つ分

これからの時期は特に、野菜の摂取量が減りやすい傾向にあります。また、高齢期の食事には特にたんぱく質の摂取が重要です。食事の際は、これらの不足がないように、主食・主菜・副菜をそろえることを意識してみましょう。

1日3食、食べていますか？

健康的な食事は、1日3食食することが基本であり、そのうえで栄養バランスを整えることが大切になります。皆さんは、「ごはんのみ」「おかずは漬物のみ」になっていませんか。

低栄養を予防するためには、たんぱく質（肉や魚、卵、大豆製品、牛乳など）を多く含むものをとることが効果的です。

普段の食事をすぐに変えることは難しいと思いますので、例えば「ごはんのみ」を「ごはんのみ」に「みそ汁」や「お味噌汁」を足すなど、ちょっとした工夫をするだけでもとれる栄養の量は変わります。しっかりと栄養をとり、いつまでも健康に過ごしましょう。



主任管理栄養士 茂木 彩英さん

バランスよく適度な量を



低栄養予防ヘルシー健康料理

ここでは、地区の低栄養予防講座で提供された健康料理のレシピを紹介します。

年末年始のゆったりとした時間に、ご家族みんなで作ってみませんか。



ほっとする和風のうま味

たっぷりきのこの鶏だんご汁



1人あたり …
エネルギー 105kcal / たんぱく質 10.3g / 塩分 1.2g

【材料】(2人分)

- 鶏ひき肉 …… 75g
- はんぺん …… 1/2枚
- 長ねぎ …… 1/4本
- しめじ …… 1/4パック
- えのき …… 1/4パック
- おろししょうが …… 小さじ1/2
- こしょう …… 少々
- みつば …… 適宜
- だしの素 …… 小さじ1/2
- 水 …… 300ml
- 醤油 …… 小さじ1/2
- 塩 …… 少々

【作り方】

1. 長ねぎはみじん切り。しめじ、えのきは根元を切り、ほぐしておく。
2. ボウルに鶏ひき肉、長ねぎを入れ、はんぺんを細かくちぎりながら加える。こしょう、おろししょうがを加えてよく混ぜ、1人3個になるように丸める。
3. 鍋に水を入れて中火にかけ、だしの素、しめじ、えのきを加えて沸騰したら2を入れて3～4分煮る。醤油、塩を加えて味をととのえ、火を止める。
4. 器に盛り付け、2cmに切ったみつばをのせる。

やきとりと卵の相性抜群 かわり親子丼



【材料】(2人分)

- ごはん …… 300g
- 千切りキャベツ …… 60g
- やきとり缶 …… 2缶
- 温泉卵 …… 2個
- 小ねぎ …… 6g
- 紅しょうが …… 10g

【作り方】

1. 器にごはんを盛り、千切りキャベツとやきとりをのせ、ラップをして電子レンジで温める。
2. 温泉卵を乗せ、小口切りにした小ねぎを散らし、紅しょうがを添えて出来上がり。

1人あたり … エネルギー 490kcal / たんぱく質 23.7g / 塩分 1.3g

いつもよりまろやかな味わい ひじきのごまミルク煮



【材料】(2人分)

- ひじき(乾燥) …… 12g
- にんじん …… 20g
- 油揚げ …… 12g
- ちくわ …… 20g
- 牛乳 …… 140ml
- みりん …… 小さじ2/3
- 醤油 …… 小さじ1
- 白すりごま …… 4g

【作り方】

1. ひじきを戻し、洗って水気を切っておく。
2. にんじん、油揚げ、ちくわは千切りにする。
3. 鍋に1と2、牛乳、みりん、醤油を入れて火にかけ、弱火でひじきとにんじんが軟らかくなるまで煮る。
4. 軟らかく煮えたら火を止め、白すりごまを混ぜ合わせる。

1人あたり … エネルギー 115kcal / たんぱく質 6.2g / 塩分 0.9g

36人の委員に委嘱状を交付 民生委員・児童委員委嘱状交付式



民生委員・児童委員委嘱状交付式が12月1日、役場大ホールにて行われました。今年は3年に1度の一斉改選の年であり、新任17人を含む36人に委嘱状が交付されました。また、今回退任された方々に対して、県と町から感謝状が贈呈されました。

式後には町民生児童委員協議会臨時総会を開催。役員改選が行われ、会長には大谷武一委員（大谷第五）が選任されました。

民生委員・児童委員の活動

- 地域住民からの相談対応
- 要援護者への支援
- 福祉施設の清掃ボランティア
- 各小中学校・保育園への訪問

特別養護老人ホームふれあい荘での清掃ボランティア▶



民生委員・児童委員は、地域住民が元気に安心して暮らせるよう、生活や福祉に関するさまざまな相談を受け必要に応じて関係機関とつなぐパイプ役を担っています。委員には守秘義務があり、プライバシーには十分配慮します。お悩みなどありましたら、お気軽に地域の委員へご相談ください。

■中部地区

担当区	氏名	居住地区
本町	鈴木 久美子	本町
西町	南 由美子	西町
栄町	多田 俊司	栄町
助ノ巻・雪谷	布施 とくゑ	助ノ巻
大町	森谷 悦子	大町
大町・緑町	松田 篤子	大町
元町・西原	阿部 淳子	元町
前田沢・新宿	長岡 好	前田沢
四ノ沢	—	—
小原・宿	佐藤 れい子	小原
沼向・平・大隅	菅井 玲子	沼向
古楨・送橋	清野 むつみ	送橋
下芦沢	大滝 俊一	下芦沢
水本	土屋 千鶴子	水本
杉山・松原	松尾 明子	松原
宇津野・大滝	村山 敏子	宇津野

■主任児童委員

担当区	氏名	居住地区
西五百川小・宮宿小 朝日中・あさひ保育園	長岡 成	常盤
大谷小・宮宿小 朝日中・あさひ保育園	菅井 弓子	宿

■西部地区

担当区	氏名	居住地区
常盤	阿部 節子	常盤
夏草・長沼	齊藤 ひとみ	長沼
西船渡	井上 智恵美	西船渡
八ツ沼・高田	佐竹 幾子	八ツ沼
能中	渡辺 きよみ	能中
太郎第一・太郎第二	村山 栄美	太郎第一
太郎第三・石須部	大井 英樹	太郎第三
立木・白倉	阿部 真由美	立木
松程	阿部 政直	松程
大船木・今平	阿部 正好	今平

■北部地区

担当区	氏名	居住地区
大谷第一・大谷第二	熊谷 三枝子	大谷第一
大谷第三・大谷第四	鈴木 ふみ子	大谷第三
大谷第五	大谷 武一	大谷第五
大谷第六	白田 千鶴子	大谷第六
大谷第七・中沢	五十嵐 美恵子	中沢
真中・舟渡	鈴木 好子	真中
栗木沢・川通	遠藤 まさよ	栗木沢
大暮山	阿部 良子	大暮山
大沼	小林 睦子	大沼

※四ノ沢区担当委員については現在調整中

4年後の開校に向けて あさひ未来学園建築設計に関する町民ワークショップ



自分たちの提案を発表する子どもたち

令和11年開校予定の義務教育学校「朝日町立あさひ未来学園」。その建築設計に関する町民ワークショップが11月29日、創造館を会場に行われ、同校の設計案について提案や質問が出されました。

参加者からは「予算面などの都合もあると思うが、子どもたちからも意見が挙がっていたので、できる限り反映してほしい」といった期待の声が寄せられました。

また、役場や創造館、西部・北部公民館および各小中学校に、11月28日から12月5日まで設置した意見箱にも貴重な意見をいただきました。ワークショップで出された意見と合わせて参考にしながら、引き続き開校に向けた準備を進めていきます。

冬の暮らしの安全・安心を担う 除雪隊辞令交付式



12月1日、役場大ホールにて除雪オペレーター22人に辞令が交付されました。このたびは運転長に就任した佐藤亮二さん（新宿）は「今年度も冬期間における町民の安心と安全を守るため、一丸となって作業にあたります」と決意を述べました。

今年度の除雪計画総延長は国道・県道を含め271.6kmに達し、このうち町が除雪を行う町道は185.1km。除雪ドーザー17台、小型ロータリー除雪車5台、大型ロータリー車・除雪グレーダ各1台の計24台に加え、融雪剤散布車1台、ハンドガイド・パトロール車・作業車各2台を総動員し、積雪時には午前2時30分からの出動に備えます。

長年の選挙管理執行に感謝の意 白田和好さんに感謝状



今年は、初の国民参政選挙である第1回衆議院議員総選挙の実施から135周年、25歳以上の男子による普通選挙の確立から100周年、そして女性に参政権が付与されてから80周年にあたります。その節目に伴い、多年にわたって選挙の管理執行や明るい選挙の推進に尽力されてきた町選挙管理委員会の白田和好委員長（大谷第一）へ、総務大臣より感謝状が贈られました。

白田さんは、これまでの管理執行を振り返り「国政選挙、地方選挙を問わず、町民の皆さんに高い関心を寄せていただき、ご理解いただいているおかげです」と感謝の言葉を述べました。



▲ボランティアサークル“きらり”に加入している朝日中学生と町社会福祉協議会による、小児がん支援のためのレモネード販売や赤い羽根共同募金運動も行われました



11/22-23 町のものづくり技術、大集合！ 第46回 朝日町産業まつり

“朝日町産業まつり”と“朝日町りんごまつり（りんご品評会）”が、町民体育館を主会場に開催されました。

町のさまざまなものづくり技術が集まり、町のイベントで最大の集客数を誇るこのまつり。会場では“りんご品評会”へ出品された最高品質のりんご56点が並んだほか、町内の事業所などによる物産品コーナーや、友好の町として交流している宮城県七ヶ浜町、物産交流のある気仙沼市本吉町による海産物コーナーなどが設けられました。さらに、りんご釣りやきのこの菌打ち体験、チェーンソーアートの実演ブースもあり、来場者は町の産業を身近に感じながら楽しんでいました。

▼ 第45回りんご品評会結果一覧(出品数 56点) ▼

最優秀賞	村山 茂雄	大谷第七	銀賞 (5点)	阿部 智彦	夏 草	奨励賞 (10点)	菅井 恒好	沼 向
優秀賞	白田 憲彦	大谷第三		志藤 一夫	川 通		齊藤 利彦	夏 草
金賞一席	菅井 誠吾	沼 向		海野 師輝	能 中		川口 明子	大谷第二
金賞二席	村山 征一	大谷第七	銅賞 (5点)	遠藤 隆弘	栗木沢		齊藤 一馬	夏 草
金賞三席	阿部 為吉	常 盤		海野 清一	八ツ沼		成原 誠	新 宿
				菅井 英幸	沼 向		佐藤 純一	小 原
				阿部 真和	夏 草		長岡 秀昭	前田沢
				堀 敏男	大谷第七		鈴木 和夫	大 隅
				井澤 壽一	夏 草		遠藤 幹子	栗木沢
				菅井 勇輝	沼 向		清野 文一	四ノ沢

※銀賞・銅賞・奨励賞については、出品番号順になります。



ほくほくの焼き芋を頼張る子どもたち



◀ドローンに映る映像を確認



子どもたちは知っている合唱歌が流れると、立ち上がって一緒に歌っていました▶



※来年は西五百川小学校での開催が予定されています



11/14 山形の秋といえば“芋煮” みんなでつくる芋煮会

松本亭一農舎（常盤）にて、地域おこし協力隊（今野颯隊員、工藤大輔隊員、工藤香織隊員）による“みんなでつくる芋煮会”が開催されました。

参加者は、あらかじめ焚きつけられていた火で具材をじっくりと煮込んだほか焼き芋にも挑戦。紅葉で色付いた周囲の景色を眺めながら、秋の味覚を存分に楽しみました。参加した子どもたちは「おいしくて、いっぱい食べたよ」と満足げに話していました。

11/17 農家の悩みをきっかけに開催 産業用ドローン研修会

和合地域交流センター友和館にて、県内事業者による産業用ドローンの研修会が行われ、15人が参加しました。

この研修会は、地域おこし協力隊の頼實孝明隊員が町内農家から「今年は鳥の被害が大きい」と相談を受けたことをきっかけに企画されたもの。参加者は、座学でドローンの特性や活用事例を学習した後、平区内の園地へ移動しデモフライトを見学。スピーカーやカメラの活用により、鳥獣被害対策への応用が期待できると大きな関心を寄せていました。

11/21 大谷小学校の児童に夢と思い出を 竜馬が学校にやって来た！

大谷小学校で、ヴァイオリニストの竜馬さんによる演奏会が行われました。

町内の有志で結成された実行委員会により開催されているこの演奏会。子どもたちは演奏を夢中になって聴いたほか、実際にヴァイオリンの演奏を体験。また、竜馬さんから「思いをたくさん口に出すと夢に近づける」「ふるさとを大切に思っほしい」と聞き、ほうき松の前での記念撮影後に竜馬さんを囲んで感想や将来の夢を楽しそうに話していました。

11/23-24 遊んで楽しむ旬のりんご りんごちゃんまつり

りんご収穫の最盛期である11月中旬～下旬。子育て支援センターあさひでは、この時期に合わせた“りんごちゃんまつり”のイベントが開催されました。

まつりでは、センター内がりんごの装飾で彩られ、りんごのまり入れやりんごを模したボールプールのほか、りんごの形のバッグを手づくりする制作コーナーも設置されました。町内外から訪れた親子は、赤や緑のりんご色に彩られた特別な空間を楽しんでいました。



12/1
~12

“スマサポ号”で分かりやすく説明 スマホ使い方教室

ソフトバンク株式会社が運用する移動型スマホ教室のための車両“スマホなんでもサポート号”が、役場駐車場に置かれました。

地域おこし協力隊の丸岡正信隊員と桑山るり子隊員が企画したこの教室。同車両内にはモニターやタブレットが搭載されています。参加者はオンライン講師と車内のスタッフからスマートフォンの使い方を学び、「使用時の悩みを親切に教えていただき有意義な時間だった」と振り返っていました。



▲“朝日音頭”披露の様子

12/2

今年は朝倉さやさんが歌唱 朝日町高齢者福祉大会

創遊館ホールを会場に朝日町高齢者福祉大会が開催され、町内の長寿クラブの会員をはじめ65歳以上の町民約250人が集いました。

冒頭の表彰式では、2個人の功績がたたえられました。続く公演の部では、山形県を代表するシンガーソングライターの朝倉さやさんのコンサートを実施。凛とした歌声は参加者の心をつかみ、“朝日音頭”を朝日柳香会の踊りとともに披露した際は、来場者も一緒に踊りながら楽しんでいました。



11/27

“KODAMA”ブランドの華やかなリース クリスマスリース販売

道の駅あさひまち りんごの森で、朝日中学校特別支援学級“こだま学級”の生徒が、校内で集めた木の実などを材料に製作したクリスマスリースを販売しました。

当日は100個のリースが販売され、生徒は「特大サイズの製作が大変だったが昨年より豪華になるよう頑張った」「松ぼっくりに色を塗ったり色のバランスを考えたりと工夫したので注目してほしい」と笑顔。購入者からは「とてもかわいくて購入した。良いクリスマスになりそう」といった声が寄せられました。



11/27

先輩の合格を願って 合格りんご収穫作業

朝日中学校1年生が、町のりんご園で“合格りんご”を収穫しました。

表面にシールを貼り光を遮ることで、絵や文字を浮かび上がらせる合格りんご。1年生は受験を控える3年生を応援するため、春から作業に励んできました。当日は町農林振興課職員の指導のもと、慣れた手つきで約200個を収穫。合格りんごはシールをはがし、12月中旬に応援メッセージとともに3年生へ手渡されます。

JICA海外協力隊 アフリカ滞在記

令和6年11月25日からボツワナ共和国に海外協力隊*として派遣中の菅井嘉代さん（元朝日中学校特別支援学級教職員／小原区）が、現地での生活などを語ります。

※独立行政法人国際協力機構「JICA」による取り組み。

[このほかの活動記録はこちら▶](#)



第4回 日本と変わらない？ボツワナでの暮らし

ドュメラン！（現地語でこんにちは）
アフリカで生活して1年が経ちました。今回はボツワナの暮らしについてお伝えします。

私が住んでいるモレポロレの人口は7万人ほどで、村と呼ばれています。ショッピングモールが数カ所あり、多くの人が自家用車（日本の中古車）を持つ車社会です。

ボツワナではほとんどのものが手に入ります。隣国の南アフリカ系列の大手スーパーが多数あり、品物も悪くはありません。また、中国人のお店も多く、中国製の家電や雑貨、服なども購入できます。物価は日本とほとんど変わりません。

私の家は公務員宿舎で、平均的な平屋の1LDKです。庭が広いので草むしりが日々の日課です。野放しにされている牛やヤギが草を食べに来ることもあります。たまに電気や水が止まることもあり、そんな時にアフリカに

いることを実感します。近所には近隣の村から単身赴任している公務員のボツワナ人女性も多く、お互いに洗濯物を干しながら雑談することもしばしば。

アフリカでのどかな暮らしは、朝日町と似ているなあと思います。



◀右側半分が私の自宅。右にある大きなタンクに雨水をためておき、断水時に使用します



◀近所の人の結婚式に参加。新郎は車いすの方です。とてもアットホームな式でした



1. 浮島の句を詠んだ村上さん。色紙は来場者3人にプレゼント
2. 創遊館ギャラリーに浮嶋稲荷神社に奉納されている文化財「俳句」が展示

11/30

大沼の浮島名勝指定100周年記念 俳句 de トーク in あさひまち

大正14年10月8日に県内で初めて国の名勝地に指定された大沼の浮島。今年、その指定から100年の節目を迎え、7月には記念式典が行われました。

11月30日には創遊館ホールで、名勝指定に関わりの深い“俳句”にちなんだイベントが開催されました。第1部では、6月から10月にかけて行われた俳句大会で金賞を受賞した方への表彰を実施。大会は県内有数の俳人を選句を依頼し、金賞は小中学生の部・一般の部それぞれ町内外に住む4人に贈られました。

第2部では、お笑い芸人の本坊元児さん（ソラシド）と村上健志さん（フルーツポンチ）、現代俳句協会評議員の佐竹伸一さんによるトークセッションが行われました。3人は、大沼の浮島の歴史と俳句とのつながりについて対談。俳句に精通する村上さんは「自慢の地を俳句を通して知ってもらうことができたらうれしい。その場面にこうして立ち会えて光栄に思う」と、浮島の歩みに関心を示していました。

【お知らせ】美術作品の展示会“アートツリーやまがた”にて、ボツワナの生徒の作品が60点ほど展示されます。ぜひ、ご来場ください。開催期間：令和8年2月8日（日）～3月1日（日）／会場：寒河江市美術館

第28回 ひめさゆり 俳句大会

町内小中学生を対象にしたひめさゆり俳句大会が今年も実施され、応募総数291句の選考結果がこのほど発表されました。

選者は、現代俳句協会評議員の佐竹伸一氏(常盤)と現代俳句協会会員で童話作家の守谷茂泰氏(東京都)が務め、次の句が金賞・銀賞に選ばれています。

このほかの入選作品については、今後お知らせ板で紹介します。

▼金賞 (佐竹伸一氏選)

積乱雲怒り悲しみつめこんで

朝日中3年 阿部真那佳

▼金賞 (守谷茂泰氏選)

いぬにくまどんどんかわるなつのくも

宮宿小2年 鈴木 彩加

▼銀賞 (佐竹伸一氏選)

しゅつこうだうきわのパパがぼくのふね

西五百川小1年 あべそなた

那須高原夢の扉はすぐしまる

宮宿小5年 阿部 和奏

幸福に命つきるかかげろうよ

朝日中1年 海野 友紀子

▼銀賞 (守谷茂泰氏選)

しゅつこうだうきわのパパがぼくのふね

西五百川小1年 あべそなた

ぼくがおにむしさんたちともついいかい?

宮宿小1年 すがい 悠せい

夏の雲見ながら駆けるのぼり坂

朝日中2年 阿部 葉奈

選考を終えて… (選評)

佐竹伸一氏
季語をうまく使えば、わずか十七音の詩である俳句はドラマにもなります。金賞句の季語は積乱雲。もこもこした形の夏の雲であり、巨大な塔のように垂直に立ち上がり、雷雨や突風を引き起こす雲であることは誰もが知っています。そのため、積乱雲とさえ言えば、こうしたことはすべて想像してもらえるので、積乱雲を説明する必要はないのです。金賞の作品は「積乱雲／怒り悲しみつめこんで」と二つに分かれるつくりです。阿部さんの怒りや悲しみを引き受けて積乱雲が大きくなったとか、大きな積乱雲に阿部さんが怒りや悲しみをためこんだとか、さまざまな想像をさせてくれる句です。銀賞のあべさんの句は、情景がリアル。ほほえましい親子の姿や表情が目につかれます。同じ銀賞の阿部さんの句は、那須高原という具象と夢の扉という心象の風景が結びついて、いろいろとイメージを膨らませてくれます。海野さんの句では、はかない命のかげろうに想いを寄せるばかりでなく、自らの生や生き様をかげろうに託す作者の心の内を思い浮かべました。



守谷茂泰氏
金賞の鈴木彩加さん。夏の雲がイヌのかたちになったり、クマのかたちになったり、すがたを変えながら空を流れていくようすを、とても上手に表現しています。「どんどんかわるなつのくも」ということばを読むと、こんどは何の形になるのかなと、わくわくしながら空を見ている気持ちになります。銀賞のあべそなたさん。海でしょうか。それともプールでしょうか。これから水にはいつてゆくときのドキドキする気持ちと、お父さんがいてくれる安心感が「うきわのパパがぼくのふね」によく出ていました。同じく銀賞のすがい悠せいさん。虫とりをしているのでしよう。草むらや木にかくれている虫たちに、かくれんぼの鬼のように「もういいかい」とよびかけているところに、虫が好きな気持ちがあふれています。同じく銀賞の阿部葉奈さん。夏の晴れた日に坂を駆け上がると、坂の上の空の雲に近づいていくような爽快な気持ちになりますね。情景がよく伝わってくる作品でした。

五・七・五のリズムに言葉をあてはめっていると、普通の文章を書くときは思いつかない面白い言葉が浮かぶときがあり、それが俳句を作る楽しさだと思います。普段から見たものや感じた事を、五・七・五で言葉にする習慣をつけていれば、きっと良い俳句が出来るでしょう。

清野忠市さんが林野庁長官賞を受賞



清野さん (左) と小坂善太郎林野庁長官 (右)

森林の適正管理や林業の技術・経営の改善に努め、森林がもつ多面的な機能の発揮と林業の持続的で健全な発展に貢献しているとして、清野忠市さん(古楨)が林野庁長官賞を受賞しました。この表彰は、公益社団法人大日本山林会が主催し毎年実施されています。清野さんは、昭和40年代に地区内の林地を取りまとめたり、朝日町愛林会(昭和47年発足)会員として町が造成した森林「青年の山」の管理に尽力するなど意欲的な林業経営を図るほか、子どもたちが森林に親しめるよう森林・林業体験学習にも注力してきました。受賞に対し「名誉ある賞をいただきうれしく思う。受賞できたのは周りの皆さんから協力いただいているおかげ」と語りました。

除雪機安全講習会

12月3日、西部公民館にて除雪機安全講習会が行われ、除雪作業受託事業者など約20人が参加しました。この講習会は山形県が主催したもので、県内でも除雪機による事故が多発していることから、安全な除雪作業を呼びかけるために実施されました。参加者は、国の克雪体制づくりアドバイザーの二藤部久三さんと、除雪機安全協議会の永岡政敏さんを講師に、県内の作業中の事故状況や、想定される除雪機の事故を確認。その後は実際に除雪機を操作しながら、操作時の注意点などを学びました。



社会福祉協議会に食品の寄付

家庭で余った食品などを集め、福祉施設や子ども食堂などに寄付する「フードドライブ」の取り組みを実施した、さがえ西村山農業協同組合女性部朝日支部から11月14日、また生活協同組合共立社寒河江生協から同月25日、町社会福祉協議会へ食品や日用品が寄せられました。両団体のフードドライブは地域貢献を目的としており、農協女性部からは部員から寄せられたもの、寒河江生協からは西村山地域の組合員から寄せられた品が提供されました。食品や日用品は今後、町内の生活困窮世帯などに配布される予定です。



▶生活協同組合共立社寒河江生協からの贈呈式の様子



▶農協女性部朝日支部から寄せられた品物



戸籍のまど

Asahi town

11月1日～11月30日届出

Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
常盤	東海林 蒼 緒	男	怜・奈津美

Marriages

おしあわせに

石井 康博 (茨城県) 吉田 沙織 (大谷第六)

Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
新宿	佐藤 隆子	利行
栗木沢	遠藤 しづ	正好
雪谷	鈴木 義隆	本幸
常盤	大井 みちよ	満賢
舟渡	五十嵐 之雄	賢一
大船木	佐藤 昭一	本一
助ノ巻	海野 恵美子	武雄
元町	稲村 幸子	恒行
石須部	長岡 孝子	誠雄
大町	安藤 くによ	光弘
助ノ巻	鈴木 美和子	隆志
太郎第二	児玉 義一	宏一
助ノ巻	鈴木 雅人	本一
大谷第三	白田 ヒデヨ	守司

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population

人口と世帯数

●令和7年 11月30日 現在

※()内は先月比

人口 5,631 人 (－28)
男 2,825 人 (－10)
女 2,806 人 (－18)
世帯数 2,270 世帯 (－10)

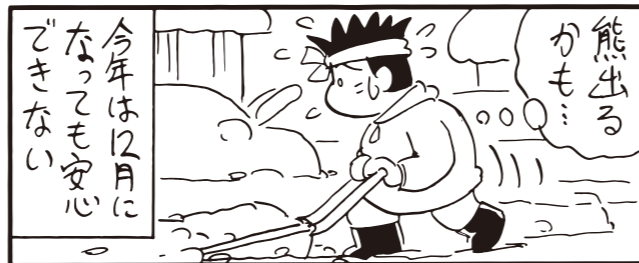
----- 11月中の異動 -----

出生 1人 転入 0人
死亡 16人 転出 13人
(※外国人を含む)

となりのリンゴさん

(376)

ホリイ



寄付採納報告



クマをはじめとした鳥獣による農作物への被害が深刻化する昨今。その対策として12月2日、さがえ西村山農業協同組合(安孫子常哉代表理事組合長/寒河江市)より鳥獣捕獲用箱わな3基を寄贈していただきました。

箱わなは、来年以降の鳥獣被害対策実施隊の活動に使用されます。

なぜ進まないの？

— ACP が進まない理由とよくある誤解 —

「縁起でもない！」から一歩踏み出した
“話せない気持ち”に寄り添って

【令和7年度 第9回】 今月の担当 … 高橋 潤 朝日町立病院院長

なぜ話しにくいの？

— ACP が進まない理由と、よくある誤解 —
縁起でもないから一歩進んで。
「話せない気持ち」に寄り添うACPの入口。

縁起でもない

生活の希望を話すことから大丈夫

元気だから関係ない

延命治療の話？

ゆっくり少しずつ

「人生会議(ACP)」という言葉を聞くと、多くの方が「まだ元氣だから関係ない」「縁起でもない話はいらない」と感じるのではないのでしょうか。実際、ACPは大切だと分かっていても、家族と話すきっかけがつかめないという声をよく耳にします。

話しづらさには、いくつか共通した理由があります。

一つは「家族に心配をかけたくない」という優しさです。重い話題を持ち出したくないという気持ちから、本音を言い出しにくくなってしまいうことがあります。また、ACPは延命治療の話と受け止められることも多く、どう切り出していけば分からないという戸惑いもあります。

しかしACPは、最期の医療だけを選ぶものではありません。これからも自分らしく暮らすために、「どんな生活を大切にしたいか」「どんな支えがあると安心か」といった、日常に近い話題からゆっくり考えていくプロセスです。早い段階で話しておくほど、ご本人だけでなく、ご家族の安心にもつながります。

大切なのは、完璧に決めることではなく、気持ちを少しずつ共有しておくこと。次回は、どんなことを話せばいいのか、日常の会話から始められるACPの進め方を紹介します。

▼朝日町立病院

☎67-2125

にわたり

第32回 二渡神社 (栗木沢)

【所在地】栗木沢地内、大谷川に架かる二見橋の北側にある

横に広い社殿に入ると、中央にしっかりした造りの内陣があり、中には大小二つの白い自然石が祀られています。二渡の神は川の近くにあることが多く、河川を行き交う舟の安全を祈ったとされていますので、ここも最上川との関わりがあったものと考えられます。

創建については不明ですが、享保七年(1722)に栗木沢村の佐久間甚三郎が奉納した絵馬「繫馬図」があるので、それ以前から祀られていたものと思われます。また、年代は分かりませんが二羽の鶏が描かれた絵馬が奉納されており、民間信仰として、とりしゃぶき(ひやくにちぜき)が治す神として尊崇されていたことを示しています。

うさぎのゆるっと解説

大谷川が最上川に流れ込む辺りは船着き場として、最上川を上り下りする舟が休んだり荷物の積み下ろしをしていたとされているんだよ。また、明鏡橋が架かる前は向かいの大巻村(今の太陽地区)との渡し舟も運行していたんだよ。



大谷小の児童と参加した地域住民の皆さん



1. 協力してペタペタ
2. どんどん色付く台紙
3. 全員が思いを記載
4. コツを伝える児童
5. 出来栄をみんなで確認

おまやに広げれ！きずなの「わ」

HOPEひろば

11.18(火)

in 秋葉山交遊館

大谷小学校の5・6年生が授業の一環で、地域住民と交流を深めることを目的としたイベント“HOPEひろば”を開催しました。児童は、ものづくり・スポーツ・ゲームのチームに分かれて、さまざまなイベントを企画・運営しています。

2回目となる今回は、ものづくりチームが担当し、参加者と一緒に“ちぎり絵”で同校のシンボルである“ほうき松”を製作。[準備が大変だったけれど、地域の人たちと一緒に作業ができて楽しかった]と振り返りました。

12月も半ばに入り、今年も残りわずかとなりました。今年1年、皆さんはどんな年でしたか。私自身は広報担当となつてから3年が経とうとしていますが、まだまだ町のことを知りきれないとい実感した年でした。同時に、取材を通して多くを考え、学ぶことができた年でもあります。来年も精進してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

岡崎 陽果

春夏秋冬
編集後記

年末年始は
いかが過ごされますか

雪も降り、いよいよ本格的に冬が訪れました。寒くなってくると風邪もひきやすくなりますね。今号の特集では、寒い時期でも元気に過ごしていただけるよう、低栄養予防に焦点を当てて記事をまとめました。6・7ページにレシピを記載した料理は、栄養バランスや減塩に配慮されており、低栄養予防にもぴったり。どなたでも食べやすいような優しい味わいとなっていますので、ぜひ一度お試しください。

